



ろうさい病院つうしん

発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.johas.go.jp/>

TEL: 052-652-5511
FAX: 052-653-3533

子宮がんに対する腹腔鏡下手術について

産婦人科部長 藤原 多子

平素よりご紹介を含め当科の診療にご協力頂きありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

昨今、婦人科手術においては腹腔鏡下手術への社会的ニーズが高まっております。当科においても子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣腫瘍などの良性腫瘍全般に対し腹腔鏡下手術を施行しており、手術件数は年々増加しています。開腹手術と比較し、術後疼痛の軽減、術創が小さい点、入院期間の短縮、早期社会復帰が可能といった利点は患者様より高評価を頂いております。

従来の子宮悪性腫瘍手術（子宮体がん、子宮頸がん）の手術は下腹部を大きく切開する開腹手術が一般的ですが、同等の治療成績が得られるのであれば身体への負担の少ない手術が理想的です。初期の子宮体癌を対象とした腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術が2008年7月に先進医療の承認を得て、2014年より保険適用となり、昨年度からは当科においても施設認定を取得し本格的に導入しております。

婦人科腫瘍専門医として当該手術経験のある医師が手術を行う事で手術の質を担保し、腹腔鏡下手術の適応症例は進行期や腫瘍径など総合的に判断し決定しますので、適応に迷われる症例についてもご紹介頂ければ当科外来にて対応致します。

皆さまのご要望にお応えできるよう、婦人科腫瘍指定修練施設として婦人科癌に対する予防、診断、治療を適切に提供いたします。当院はがん拠点病院でもあり、今後も連携医療機関の先生方とともに地域の医療向上に努力してまいります。今後とも一層のご協力ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



PCI後の心臓リハビリテーションについて

循環器内科部長 原田 憲



先生方には日頃から病診連携・病病連携で大変お世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。さて近年、PCIの予後改善効果について議論されることが多くなってきました。PCI後の患者さんでも、心臓リハビリを併用することで予後改善効果・心筋梗塞発症予防効果が期待できます。

PCI後の患者さんの心臓リハビリの主目的は再発予防ですが、心不全合併症例では心不全増悪予防、フレイルを認める症例ではフレイル改善も目的となります。当院では主に①運動療法、②患者教育、③カウンセリングを行っています。運動療法では、CPX検査を用いて運動処方を行い、退院後の運動指導を行います。患者教育には冠危険因子の評価と是正、生活指導、栄養指導、薬剤指導、禁煙指導などが含まれます。また、抑うつ状態や社会的な孤立も増悪因子であり、適時介入しています。

冠危険因子は、高血圧などの病態因子や食生活などのライフスタイル因子と多岐に亘ります。これらの改善には多職種介入が不可欠です。我々は医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、PT、医療ソーシャルワーカーなどによる多職種によるチームを作っています。心疾患患者の抱える種々の問題について介入を行うことを、包括的心臓リハビリテーションと呼びます。PCI後の早い時期に再発予防のため、職種ごとの明確な目標と介入方法を決定し、多職種で経過を観察し、カンファレンスで情報を共有する包括的心臓リハビリテーションが急性期病院の役割と考えています。

この症例カンファレンスですが、毎週木曜日16時半より3階の循環器病棟で行っております。名古屋大学保健学科 山田純生教授のご指導のもと、オープンカンファレンスの形式を取っています。近隣の先生方もご出席頂けますのでお気軽にご参加ください。また、お困りの症例などをご提示頂けると、当院の医療チームで検討致します。

今後この地域の医療に貢献できるよう精進していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

MRI更新について

中央放射線部長 金子 壽和



10月1日より新MRI装置、「SIEMENS MAGNETOM Aera」が稼働いたしました。

当院連携医の先生方には、更新工事に伴い約2ヶ月の間ご迷惑をおかけいたしましたことお詫び申し上げます。

ご利用いただくにあたり、新装置のメリットを以下の6項目として紹介させていただきます。



1. 小型化

145cmのショートガントリと、70cmのオープンボアデザインとなり、圧迫感の低減に貢献しております。さらに、開放感が患者の不安を和らげ、体動による画像への影響も抑えます。また、従来のMRIでは対応が難しかった、重症例や肥満、脊椎後弯などの特殊ニーズにも対応が可能となります。

2. 低騒音

高画質を担保しながらノイズを抑え静かな検査が可能になり、より被験者の心理的負担を低減し、やさしい検査を実現します。(被検者の満足度向上)

3. 高磁場均一性

高い磁場均一性を持ち、FOVの隅々まで歪の少ない画像が得られ、均一な脂肪抑制効果もあります。(従来の球体状の1.5倍の体積を持つ人体形状に近い円筒形の最適化された磁場均一性を確保)

4. 金属アーチファクト低減

新アプリケーション技術により術後体内インプラント周辺の組織評価に対し、よりアーチファクト抑制効果の高いシーケンスを採用することによって、高診断能力と安定した画質を実現しました。

5. ASL (Arterial spin labeling)

脳血流状態が観察可能な非造影3Dパーフュージョン画像の取得により短時間で全脳血流量評価が可能となりました。

6. 高時間分解能

圧縮センシング技術を使用した高速化のメリットとして、循環器領域における各種撮像イメージング、体幹部撮像でデバイスを使用しない息止め管理、体動抑制に期待できるアプリケーション(Automatic Navigator)を搭載すること等により、診断能の高い撮像が可能となりました。

最後になりますが、連携医の皆さまの益々のご発展を祈願いたしますとともに、今後とも、スタッフ一同より良い医療画像を提供し、土日の運用も含め共同利用しやすい環境を整えてまいります。引き続きご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

地域医療連携室だより

～中部ろうさい病院夏季病診連携セミナーを開催いたしました～

夏季病診連携セミナーを去る8月22日（木）に当院2階講堂で開催いたしました。今回は、「今の乳がん治療について」と題しまして、外科の坂口副院長から、日本における乳がんの特徴、発症リスク、治療、検査などについて当院での乳がん治療症例をを交えて講演を行いました。また、乳がんの最新トピックスとして、遺伝性乳がん・卵巣がんに対する「がんゲノム」医療についても、現在の医療水準等について情報提供いたしました。

平成から令和へと時代も移り変わり、現在、様々な分野・領域で変革が進んでおります。当院の病診連携セミナーについても、幅広いテーマを扱ってまいります。ご希望のテーマ、トピックス等について、連携医療機関の各先生方からのご要望等も受け付けておりますので、地域医療連携室までお申し付けいただければ幸いです。

次回の冬季病診連携セミナーは、2月1日（土）上前津「ローズコートホテル」にて、呼吸器外科の中川部長を演者として開催予定です。ご参加をお待ちしております。

医師交代

☆退職

（令和元年6月30日付け）

春田 尚樹 消化器内科医師

（令和元年7月31日付け）

八谷 カナン リハビリテーション科副部長

（令和元年9月30日付け）

岩田 誠子 小児科部長

佐藤 裕也 耳鼻咽喉科医師

☆採用

（令和元年7月1日付け）

大野 司 心臓血管外科医師

（令和元年10月1日付け）

安田 彩子 小児科部長

山本 遥子 耳鼻咽喉科医師

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室 （平日 8:15～19:30）
052-652-5950 (TEL)
052-652-5716 (FAX)

室 長：坂口 憲史（副院長）
課 長：藤田 実
事務担当：小林 伸弘・内藤 遵子・
金井 久実